

2021年8月17日

各 位

特定非営利活動法人なら人権情報センター
理 事 長 古 川 友 則
第12回奈良県「差別と人権」研究集会実行委員会
委 員 長 古 川 友 則
(公印略)

第12回奈良県「差別と人権」研究集会の開催中止について(ご案内)

日頃の人権施策の推進に対して心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、第12回奈良県「差別と人権」研究集会は、2回にわたる実行委員会を開催し、研究集会テーマを「コロナパンデミックと差別-この国の今を考える」と決定、藤原辰史さん(京都大学准教授/農業史・環境史)のリモート講演、午後には最首悟さん(和光大学名誉教授)、高橋年男さん(沖縄精神障害者家族会 事務局長)、加藤めぐみさん(ハンセン病回復者支援センター)からレポート報告と参加者との討論を予定し準備を進めてきました。

併せて、新型コロナ感染の推移に注視をしてきたところであります。

現在、緊急事態宣言が6都府県に、まん延防止等重点措置が13道府県に8月31日までを期間として実施されています。(8月16日現在)

しかし、残念ながら新規感染者は急増の一途にあります。

事実上の「医療崩壊」に陥っている都道府県も出てきており、政府は緊急事態宣言を7府県、まん延防止等重点措置も10県追加し、併せて9月12日まで期間の延長を検討しています。

以上を踏まえた場合、9月4日開催予定の研究集会が「相当のリスク」を抱えた研究集会となると判断せざるを得ず、実行委員長としてやむなく研究集会の中止を決断いたしました。

研究集会の成功に向けてご努力を頂戴しているすべての関係者の皆様に感謝とお詫びを申し上げます。

以上の経緯をご了承いただくとともに、今後とも変わらぬご協力をお願い致します。